

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市広芝町マンション 新	階数	地上10F
建設地	吹田市広芝町19番7	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	113 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年7月 予定	評価の実施日	2016年6月1日
敷地面積	858 m <sup>2</sup>	作成者	中山 雅子
建築面積	383 m <sup>2</sup>	確認日	2016年6月1日
延床面積	3,314 m <sup>2</sup>	確認者	宮川 嘉則

本図を右クリックし、「図の表示」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 86% (158 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 86% (158 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 86% (158 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

音環境	2.7
温熱環境	2.8
光・視環境	3.5
空気質環境	3.7

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9

機能性	2.9
耐用性	2.8
対応性	2.8

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.6

建物外皮の	3.0
自然エネ	2.0
設備システ	4.4
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.6

水資源	2.2
非再生材料の	2.8
汚染物質	2.6

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.6
地域環境	2.8
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 本計画は、単身者用共同住宅の計画である。建物は整形のスッキリとした形状とし、道路境界から約5m setbacksを確保することで圧迫感のない計画とした。建物、駐輪場、駐車場への各動線を明快に分離することで、居住者の使いやすさに配慮している。		特になし
<b>Q1 室内環境</b> 内装材はF☆☆☆☆を使用し、シックハウス対策に配慮した。環境騒音調査を実施し、就寝時間帯(21-7時)の1時間等価騒音レベルが45dBA以下となるよう計画した。	<b>Q2 サービス性能</b> 配管ピットを設け、維持管理のしやすさに配慮した。外装材にはタイル等を使用し、維持管理の容易性を高めた。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> アプローチの両側に植栽を設けることで、自然を感じられる出入口とした。
<b>LR1 エネルギー</b> 共用部の照明にはLED照明を採用し、また自動制御による点灯消灯とすることで、省エネを図った。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 断熱性能の高い断熱材を使用することで一次消費エネルギーの削減に配慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地内に適切に駐輪場、駐車場を確保し、周辺の交通量負荷抑制に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0055

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>	建物名称	(仮称)吹田市広芝町マンション 新築工事					
	建設地	吹田市広芝町19番7					
	用途/区分	集合住宅					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					対象外	

<b>【評価項目】</b>							
省エネルギー対策		① CO2削減					
		② 省エネ対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.5	4	
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	3	
				住戸・宿泊	3.0		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			3.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			2.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			4.4		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			2.2		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	-	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0		
その他							
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項		
特に配慮した事項							